

事務事業評価シート(総括表)

事務事業	50	生涯学習指導者・支援者バンクの充実					
章	2	ともに学ぶ、文化とふれあいのあるまち					
大項目	01	生涯学習、スポーツの推進					
施策	03	生涯学習、スポーツの条件整備					
事業内容							
目的	生涯学習団体の中から、広く生涯学習・生涯スポーツを指導・支援する個人や団体を登録し、生涯学習活動を希望する区民を支援する体制を確立することで、生涯学習活動の充実を図ります。						
対象・手段	対象：区内在住・在勤・在学の個人または区内に活動拠点のある団体。 手段：広く区民や各種団体へ指導者登録の働きかけを行うとともに、研修会・講習会を実施し、多様なニーズに対応できる登録者や登録ジャンルの増加を図ります。また、生涯学習財団が主催する事業での積極的な登録者の活用や、地域事業とのコーディネートを通じて、制度活用の増加を目指します。						
成果(事業が意図する成果)							
文化・スポーツの指導者・支援者バンク制度を一体的に充実し、生涯学習の活動成果を地域に還元するしくみの一端を担うことで、協働・参画社会の実現が図られます。							
事業成果指標							
指標名	定義	目標水準					
文化等学習支援者バンク登録者	文化等学習支援者バンク登録者数	(平成19年度に 250人)	の水準達成				
スポーツ指導者バンク登録者	スポーツ指導者バンク登録者数	(平成19年度に 400人)	の水準達成				
		( )	年度に ( ) の水準達成				
成果の達成状況							
	単位	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	備考	
事業成果指標	目標値1	人	250.00	250.00	250.00	250.00	
	実績1	人	199.00	99.00	128.00	157.00	
	= /	%	79.60	39.60	51.20	62.80	
	目標値2	人	400.00	400.00	400.00	400.00	
	実績2	人	330.00	250.00	268.00	276.00	
	= /	%	82.50	62.50	67.00	69.00	
	目標値3		0.00	0.00	0.00	0.00	
	実績3		0.00	0.00	0.00	0.00	
	= /	%	0.00	0.00	0.00	0.00	
事業の実施内容							
平成17年度	文化バンク登録者数は個人111人、団体17。登録者研修会1回、「お試し体験講座」を22件実施しました。 スポーツバンク登録者268人。体育館指導員・各種スポーツ教室・学校プール開放・地域団体への派遣を行いました。(派遣実績68人)						
平成18年度	文化バンク登録者数は個人139人、団体18。講習会(全8回、受講者延べ308名)、シンポジウム1回(参加者78名)、「お試し体験講座」を34件実施しました。 スポーツバンク登録者276人。体育館指導員・各種スポーツ教室・学校プール開放・地域団体への派遣実績89名。						

部名称		教育委員会事務局		課名称		生涯学習振興課	
		単 位	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	備 考
トータルコスト	事業費	千円	860	755	442	318	
	人件費	千円	5,837	5,837	5,837	5,796	
	事務費	千円	0	0	0	0	
	減価償却費等	千円	0	0	0	0	
	総計 = + + +	千円	6,697	6,592	6,279	6,114	
	受益者負担	千円	0	0	0	0	
	純計 = -	千円	6,697	6,592	6,279	6,114	
	受益者負担率 /	%	0.00	0.00	0.00	0.00	
財源内訳	一般財源 = -	千円	6,697	6,592	6,279	6,114	
	特定財源		0	0	0	0	
	一般財源投入率 /	%	100.00	100.00	100.00	100.00	
職員	常勤職員	人	0.70	0.70	0.70	0.70	
	非常勤職員		0.00	0.00	0.00	0.00	
<b>事業に関する検討課題</b>							
<p>今後、総合型地域スポーツ・文化クラブの設立・運営等の、地域参画事業の運営を円滑に実施し、生涯学習社会を実現していくためには、各種人材情報を包括したバンクとして制度を統合・見直し、多様な地域ニーズに応えていくことが必要です。</p>							
評価基準に基づく評価と理由 「3.2.1」の3段階評価です。	達成度	2	登録者の増加とともに、活用実績も向上し、一定の成果を上げています。				
	効率性	3	現行運用における事業費の圧縮並びに事務の効率化は、かなり達成できています。				
	実施の成果	2	種目やジャンル、特定の事業などで一定の成果をあげています。制度活用に力を入れ、バンク制度を地域に浸透させることが必要です。				
	行政の関与	3	生涯学習社会、協働型社会を確立するためにも、区は積極的に制度情報を発信していく必要があります。				
	妥当性	3	文化系・スポーツ系を問わず、共通的に生涯学習財団が主催する多様な事業への参加を呼びかけるなど、財団が積極的に地域での活動をコーディネートすることが必要です。				
	施策寄与度	2	積極的にその他の事業との連携を図り、地域での事業をコーディネートしていくことにより、生涯学習活動を希望する区民の支援に寄与します。				
総合評価	<p>通年での登録周知や、積極的な事業関与の呼びかけを行ったことで、登録者の増加とともに活用実績も向上し、一定の成果をあげています。また、新たに学校部活動支援や、各種イベントでのボランティアとしての活用実績を上げることができました。</p>						<p style="text-align: center;">B</p> <p>過年度評価</p> <p>17年度 B</p> <p>16年度 B</p> <p>15年度</p> <p>14年度</p>
							方向性
改革方針	<p>今後は、学校部活動支援や、子どもひろば、総合型地域スポーツ・文化クラブの設立など地域参画事業での指導者・事業運営協力者の需要が一層高まると予想されます。地域人材を、効率的かつ柔軟に有効活用できるバンク制度として、両バンク制度を統合するとともに、既存の活動団体も内包した総合的な人材バンク制度として整備しなおします。区民が利用しやすい制度となるよう見直しを図っていきます。</p>						<p style="text-align: center;">2</p> <p>手段改善</p>